

科目分類	専門基礎分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	臨床薬理学演習	学 期	後 期	寺井 文子（薬剤師）
		単 位 数	1	
		時 間 数	16	
目的 (ねらい)	病態生理学・臨床病態論など既習の知識と薬理学を結びつけ、安全な看護実践のために必要な知識を学ぶ。			
目 標	1. 事例を通して、対象の薬物療法の目的を理解し、薬物の作用機序および生体に及ぼす影響を理解する。 2. 事例を通して、対象に必要な薬物治療と患者指導を習得する。			
	回数	単元項目	内容 形態	授業
	1	・薬物療法の目的理解	1～7回	
	2	・薬物の作用機序、生体に	事例を用いて学習する	
	3	及ぼす影響の理解	事例毎にグループ討議後、グループ発表を行う	
	4	・対象に必要な薬物治療と		
	5	患者指導の習得		
	6			
	7	麻薬		
	8		麻薬の運用方法の習得、演習	
教科書	ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進② 臨床薬理学 メディカ出版			
参考文献				
評価方法	・受講態度、参加姿勢、提出物の提出状況を総合的に評価します。 ・100点満点での結果を最終評価とします。			
関連科目	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ、病態生理学 臨床病態論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、病態症候論演習、基礎薬理学、看護学 各領域看護学概論			
自己学習に関する指針				
その他の通知事項				